

TRIOS を使いこなしていただくために plus α の情報を提供するための TRIOS+ plus α インフォメーションの第一弾として福岡天神ささだ歯科、院長 笹田雄也先生と DH 坂本歩美様にプレゼンテーション形式で、スタッフ全員が有効活用できる TRIOS の活用法についてお話いただきました。開業から 2 年今では院内でスキャナの取り合いが起きているそうです。今回はその内容を文面にてご紹介いたします。また、実際のプレゼンもご覧ください（右記 QR コードよりアクセス）。



<https://l.3shape.com/ufZou>

ペイシェントモニタリングを使用した口腔内スキャナの最大活用法

- すべてのスタッフがすべての来院者に気軽に活用 -



福岡天神ささだ歯科 <https://www.ft-sasadadc.com/>

DR. 笹田雄也 DH 坂本歩美



笹田先生の考える IOS（口腔内スキャナ）の選択基準

勤務医時代の 15 年前から IOS に携わり、講演活動を行う笹田先生が 2021 年の開業時に選択したのは TRIOS4 であった。その理由として確かに初期投資は簡単ではないが、使う分のランニングコストはほとんど発生しない、それならば全員クリニック全体でフル活用できることを選択基準としたからである。ではどうやって TRIOS で『誰でも簡単に』『気軽に』『すべての患者をスキャン』して、最大活用することができるのかを解説する。

Key は機種を選択基準

笹田先生が考えるこれからの選択基準は『①ワイヤレス』『②スキャンスピード』『③データ活用アプリ』それらをすべてを併せ持つ IOS。TRIOS はそのすべてを兼ね備えている。



①ワイヤレスの恩恵

開業当初はカートで各チェアを移動していたが、ワイヤレスの有効活用方法*1)を導入し TRIOS SHARE の活用することで各チェアサイドに画面共有することでスキャナとマウス（どちらもワイヤレス）だけを移動することで機動力が上がり、使用頻度が増加しすべての患者にスキャンを行えるようになった。



ワイヤレスだからこそ、自由に持ち運びが可能

②スキャンスピード

スキャンが簡単に素早くとれないと頻繁に使えないが、TRIOS なら少しのトレーニングで片顎 30 秒程度でとれるようになる。

③データ活用アプリ

初診からメンテナンスまで一連の流れで使用するためデータを素早く活用できるアプリが重要。TRIOS に標準装備されている Patient Monitoring（ペイシェントモニタリングアプリ）を活用することで、診断の際にも複数データの重ね合わせで経年的な変化を確認（チッピング、摩耗、咬合状態、矯正治療モニタリングなど）することができる。また、外傷の診断に用いた場合の例としてプレゼンで紹介されている。

後半部分は DH の坂本様にお話をいただきました

DH による臨床活用 - 従来の TBI の問題点

従来から抱えている TBI に関する問題点として、以下のようなことがある。ブラッシングの改善がみれない患者に対するコミュニケーションも難しく、DH も多くのストレスを感じていた。



デジタル OHI^{*2)} でウソのように改善

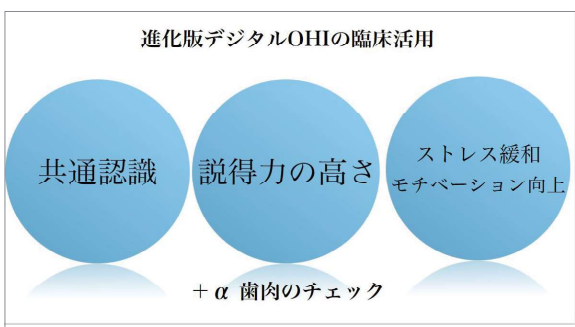
記録にスキャンを使用することで『大幅な時間短縮』になるうえ、『見える、伝わる説得力のある』TBI を行うことができ、患者からも大変好評である。

パシエントモニタリングを応用した進化版デジタル OHI
パシエントモニタリングをデジタル OHI に応用することで、さらなる有効活用が可能となった。この進化版デジタル OHI を実施し、ブラッシングが変化（1回目、二回目の比較）した症例を供覧、プラークコントロールの共通認識が得られるようになったことを実感している。



パシエントモニタリングを用いた進化版デジタル OHI の例。前回と今回の染め出しの違いが一目で分かる

また、コミュニケーションツールとして使用することで、伝え方に悩んでいた患者に対して前回との比較を理解してもらうことで患者の意識や行動に変化が生じている。DH からの声かけは以前と同じ内容だが伝わり方、説得力が圧倒的に違うことに気づいた。前回から改善した患者にもポジティブな部分を伝えることで『やりがい』感が伝わってきた。さらに頑張った結果を大画面で魅せることでモチベーション向上にもつながった症例を紹介している。



うがいしている間にパシエントモニタリングを起動

起動や操作も簡単なパシエントモニタリングを活用しビジュアルで確認することでクレームを防ぐケースなどもあった。また、新人ベテラン関係なく誰でも簡単に、すべての患者に活用することで福岡天神ささだ歯科では TRIOS スキャナの取り合いが起こるほど有効活用できている。

これからの IOS の位置づけ

15 年前はまだ価格も高く、マニアが使うものだという印象があった。また 10 年程前には講演時、今からは歯科医師が広く補綴で使う時代と話していた。

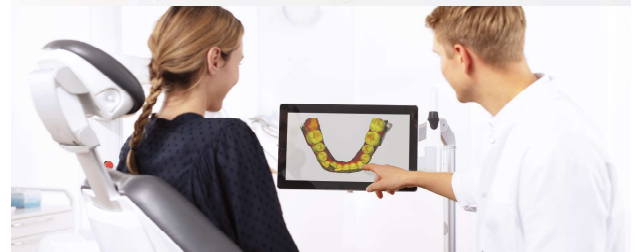
しかしこれからの IOS は、補綴物を作る目的だけの機械ではなく、『全てのスタッフが全患者で気軽に使う時代であり、それが患者・術者双方のメリット』になると感じている。

*1) 丸尾勝一郎先生参考

*2) 小池歯科医院 DH 吉久保様参考



TRIOS のソフトウェアには下記 Patient Engagement アプリが標準装備されています*



TRIOS 3 オーラルスキャナ 管理医療機器 承認番号: 22800BZ100042000
TRIOS 4 オーラルスキャナシステム 管理医療機器 承認番号: 30200BZ100027000
製造販売元: 3Shape Japan 合同会社 東京都港区西麻布2-11-2 SHINKO-西麻布ビル8F

製品についての詳細は、3Shape 販売代理店までお問い合わせください。
©3Shape A/S. 2022 All rights reserved.
本書に記載されている 3Shape の名前とロゴおよびその他の商標は、EU およびその他の国で登録された 3Shape A/S の商標です。